

防災ボランティア演習

担当教員 : 及川 真一

研究室番号 : 311

所属 : 介護福祉学科

必修/選択 : 必修

開講時期 : 1年 後期

授業形態 : 講義・演習

単位数 : 1

時間数 : 15

授業の目的						
実践を通して、防災ボランティアに関する理解をより深めることが本授業の目的である。 防災ボランティア活動の意義や役割を踏まえ、災害という特殊な環境において、ボランティアに求められる知識と適切な心構えを身につけ専門性を発揮できる能力を涵養する。						
到達目標・DPとの関連						
	到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
	防災ボランティア活動の意義、役割を説明することができる。	○				
	災害時の課題を知ることができる。	○				
	他者と協調し、円滑な避難所運営（演習）を実施できる。		○	○	○	○
	災害時に必要な技術（テント設営・炊き出し等）を身につける。		○	○	○	○
授業の方法						
本授業は、講義と演習を交えながら進めます。講義は、テキストとパワーポイントによる資料提示及び配付資料を用いて展開します。演習では、実際に避難所支援の疑似体験やグループワークを行います。						
成績評価方法・基準						
参画型の授業内容となり、出席し、活動することにより成績評価します。 授業への参加度50%、課題レポート評価50% 【課題レポートテーマ】防災ボランティアが果たしうる役割、自分にできることは何かについて述べる。						
課題等のフィードバック						
課題レポートについては、可否発表に併せ、科目全体としての到達状況の評価や平均点等について周知します。						
履修要件						
特になし						
履修に際しての留意点						
5回目の授業は、フィールドワークとなっております。聴覚障害者との関りを通じて手話防災を行います。 6回～8回目の授業は、本学の体育館・グラウンドで行う演習となっておりますので、動きやすい服装で参加してください。						
学生へのアドバイス						
防災を学ぶ究極の目的は「自分の命は自分で守る」(自助)ということです。人は、安全な状況にいるときは気づかないが、危険な状況になって初めて、安全の大切さを知ります。事前に災害について詳しい知識と理解を持ち、危険な状況に対応できる実践的なスキルを身につける授業です。						
実務経験						
東日本大震災、熊本地震、秋田県豪雨災害、台風19号豪雨災害などの災害ボランティアに携わった経験をもとに、様々な実践的な事例を紹介しながら講義を行います。						
テキスト						
及川真一『防災キャンプのすすめ』 秋田魁新報社 2016						
参考文献						
随時、紹介いたします。						

